

警城時報

日十二
編輯兼發行 岡田 弘成
印刷 所 警城時報社
發行 所 警城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十文字貳拾五文字
日刊(日曜紙除)日誌日休刊

隣接町村へ呼びかけ

更に二千圓の寄附募集 未だ足らぬ平商講堂建築費

既報、同窓生から成る商友會の大講堂を建築の運びと成つた全額寄附金で建築する市立平商の商友會幹部一同凱歌を奏し、業學校新講堂は十八日の市参事であるが、右についで、商友會長會で、工業との間に請負契約は「未だ大變です、あと二千圓成立し、工費一萬六千四百圓を頭を痛めてゐる」と謙遜して、近く着工する運びと成つた、
建物は木造平家建、二千名収容する大講堂で、明春二月末までに竣工せしむる予定であるが、電燈、照明装置等請負契約外の備品を加へると、總工費一萬七千圓を超過し、現在迄に平商友會員の足に依つて集められた寄附金總額三萬五千圓に過ぎず、尚二千圓の不足を生じてゐる為、商友會も頭を痛め、引き続き、隣接町村に呼びかけ、分れ關係方面を歴訪大講堂と成つて不足額を補填寄附金に奔走を續けてゐる、然し大額の寄附金は殆んど集め盡して居り更に二千圓を集めることは容易ならざるため、現在同校に入學し直接受益を受けてゐる隣接町村へ呼びかけ、内郷、好間、湯本三町村から寄附を受くべく折衝を進めつゝあり、現在生徒五百名中三町村で五百五十名在學してゐるから三町村とも諒水し負擔に應ずる模様で、近期中に寄附額の決定を見るものと期待されてゐる。

中支戦線に傷く 麻原准尉以下廿五勇士

七月一日から九月二十日までの中支戦線に於ける戦闘で名譽の戦傷を受けた陸軍少尉麻原のうち地方關係は左の如し
△准尉麻原吉五郎(平市杉平)
△軍曹志賀信男(平市白銀町)
△伍長堀田新太郎(内郷村)小澤義雄(山田村)草野春己(澤渡村)小野榮(川野村)△上等兵酒井榮喜(太浦村)水野勇輔(永戸村)平山嘉平(永戸村)永山久次(湯本村)秋山幹雄(山田村)高木勇(小名瀬町)鈴木秀吉(湯本村)荒川光太郎(好間村)渡邊満△二等兵三宮竹藏(内郷村)佐々木正雄(平市材木町)遠藤忠治(好間村)矢野義衛(赤井村)星正直(錦村)山野滋(松四町)渡邊茂十(武野村)高岡一郎(草野村)鈴木信好(石佳村)久保木昌保(泉村)

青年徒歩旅行 講演映畫の夕

水戸運送事務所主催、青年徒歩旅行に關する講演と映畫の夕は、明後二十一日午後六時から市公會堂で開演する、講師は東鐵運輸部長木崎氏、映畫は左の通り、入場無料
△青年に期かに歩け(二部四巻) 鶴岡(一巻)白根を越えて(二巻)お伽列車(三巻)凍る橋名湖(四巻)スキ(第一課) (二巻)その他
證書交付式 二十三日午後一時から市公會堂で、現役兵及補充兵の證書交付式を舉行する

まだ大變です 重機商友會長談

既報、同窓生から成る商友會の大講堂を建築の運びと成つた全額寄附金で建築する市立平商の商友會幹部一同凱歌を奏し、業學校新講堂は十八日の市参事であるが、右についで、商友會長會で、工業との間に請負契約は「未だ大變です、あと二千圓成立し、工費一萬六千四百圓を頭を痛めてゐる」と謙遜して、近く着工する運びと成つた、
建物は木造平家建、二千名収容する大講堂で、明春二月末までに竣工せしむる予定であるが、電燈、照明装置等請負契約外の備品を加へると、總工費一萬七千圓を超過し、現在迄に平商友會員の足に依つて集められた寄附金總額三萬五千圓に過ぎず、尚二千圓の不足を生じてゐる為、商友會も頭を痛め、引き続き、隣接町村に呼びかけ、分れ關係方面を歴訪大講堂と成つて不足額を補填寄附金に奔走を續けてゐる、然し大額の寄附金は殆んど集め盡して居り更に二千圓を集めることは容易ならざるため、現在同校に入學し直接受益を受けてゐる隣接町村へ呼びかけ、内郷、好間、湯本三町村から寄附を受くべく折衝を進めつゝあり、現在生徒五百名中三町村で五百五十名在學してゐるから三町村とも諒水し負擔に應ずる模様で、近期中に寄附額の決定を見るものと期待されてゐる。

武徳會有功章拜受 光榮の市・郡下關係者

大日本武徳會有功章授與式はきに出席する爲當日出陣、引き續き北品嶺家廟六百年祭に參列した。地方關係で光榮の有功章並にこれに準ずる謝状を拜受した者左の如し
△一等有功章拜受者 小田吉次(好間村)
△二等有功章拜受者 八巻肥次郎(国立平保健所事務長) 大平勳(小名瀬町)
△三等有功章拜受者 本田勇治郎(平警察署長) 諸橋久太郎(平市) 山崎與三郎(同) 植田(同) 江尻博孝(泉村) 原成通(錦村)
△四等有功章拜受者 堀田五郎(植田警察署長) 薄葉捨吉(四倉警察署長) 百澤勇(同) 佐市(湯本町) 古川傳一(植田町) 藤澤昇(同) 安島理景(同) 坂本龍太郎(同) 渡邊徳太郎(同) 馬守一(同) 戸部光衛(警務村) 前田清美(植田)
△一等に準ずる謝状拜受者 岡部次郎(昭和入組工務場長)
△二等に準ずる謝状拜受者 菅原萬治郎(警務隊内郷鎮業新長)
△三等に準ずる謝状拜受者 沼田清之助(内郷村長) 金成茂(好間村長) 新妻盛(四倉町長) 大貫經次(入山探炭湯本坑務所長) 芳賀清之助(草野村長) 吉田保之助(大野村長) 下野十朗(古河炭礦好間鎮業所長) 鈴木恒三(大日本電力平營業所長) 木村清治(大浦村長)
△四等に準ずる謝状拜受者 玉川村長宮内久枝 川前村長永山忠一
鹿島青年團長決定 鹿島村青年團長は久員中の處志賀久馬氏に決定した

鹿島助役辭任

石城郡鹿島村助役佐藤甚太郎氏は、家事都合に依り十七日辭任、村では近く後任を選定する

夏井農會總代會

夏井村農會では十九日役場に總代會を開き決算を附議した

麵類値上げ

四倉麵業組合では原料騰貴のため二十日から左の如く値上げとなつた

轉業指導協議會 平職業紹介所が主催

物資統制に依る失業業者、轉業者百二十一名の全員を招き協議會等の就業指導に萬全を期する爲を開くこととなつた
△二十一日午後一時、平市公會堂(平市及内郷村)△二十二日、午前九時、草野村役場(草野)△同日午前十一時、小川村役場(上、下町小川村)△同日午前十一時、四倉町役場(四倉)等指導する爲の日程で管内各町信用組合理事、郡農會總代の要職にある、同氏は隨處して知られ、信念に燃える人である

横顔 近藤吉松氏

民政比佐派の重鎮近藤吉松氏は江名町會議員に當り、政治的方面では政治調査會長として重きを爲してゐる、公職は同町元消防組頭たりしことあり防火思想の普及に、現在優良組合の發高い江名町信用組合理事、郡農會總代の要職にある、同氏は隨處して知られ、信念に燃える人である

青天目信次郎氏

勿來町窪田に本據を置く青天目氏は自動車協會植田支部の支部長として窪田地方の業界を牛耳る有力者で、勿來町會議員たること四期、縣境勿來の自治的振興に努力し、政治的進出を期待されてゐる

洋服商業 組合總會

洋服商業組合の創立總會は十八日午後二時から市公會堂で開演、組合員三十八名出席、欠席六名、役員を左の如く決定した
△理事長 佐川三良△常任理事 影山萬吉△理事 永山小平、中島初太郎、小川芳太郎△監事 藤根正三、鈴木鎌造、高崎清、明、顧問 大崎幸七郎
決定
△うどんそば七錢、△なべ焼十五錢、△支那そば十二錢

警陽野球中止


二十三日から舉行の予定であつた警陽野球大會は炎熱制チームの都合により今年中止となつた

化粧品業者懇談會

來月十一日午後六時から平市公會堂でクラブ化粧品販賣業者の懇談會を開く

大一屋の慶事

丁日大一屋商店根本善吉氏長女ト子さんは阿部政右衛門氏の媒酌で小名瀬町會議員小松重長衛氏長男周二氏と婚約、二十一日午後三時から各日樓に於て一日三時三十分は警務隊女出陣の式典を挙げることに成つた、ト子さんは警務隊女出陣の才媛で新婦は青山麗子と稱する、現在伏見宮殿下の傳育係を勤務前途を囑目されてゐる

 <p>電九・九九番 店商屋釜</p>	<p>出前迅速 御料理 むぎとろ さつさき 平市紅小路電四八八</p>	<p>債券・公債 兩替・金融 多田井質店 平市大町電五九二</p>	<p>整形外科 大河内醫院 電(平)五八八番</p>	<p>御料理 金みよし 平市仲町電四一九</p>
--	---	---	------------------------------------	----------------------------------

★戰地通信★

初陣の血祭り..... 敵兵を捕虜にした

市内網屋町出身 松田 一 君
拜啓御無沙汰致しました、皆様など支那では進も見られませぬ
御愛顧御座りませんか、僕も元赤土の山、赤土の道であるから
氣で軍務に邁進、蔣介石を追ひ夜間等々〜すべるので歩く
全軍常隊、一路漢口へ漢口へとのに困難致します、
進軍致して居ます
九月十七日の戦鬨、大堤景山のせう、至つて平穩です、臺灣島
敵を追撃中、顔面、目の一寸下あたりの氣候とくらへるとこ
の所及び咽喉部に敵小銃弾が岩らの方が良い、廣々とした平野
石に當りたる石が飛び來つて負米も置がなつて網刈り時だが農
傷す、一週間はかりに治る、民が逃げてゐるので米はなりつ
安心して下さ
只今は毎日第一線に出て働いてなくばくばくしてゐるので我等
ありませぬ、初めての戦鬨の時に迎へ食へられませぬ、捕虜の
敵歩兵一隊兵を捕虜にした、實に内地米を食はせると美味い
戦は仲々猛烈です、敵は雨が降ると云つていくらでも食へる、山
のやうに自動小銃を浴びて來て大きな木が無いのでは感心し
る、日本軍は皆だまつて突撃をします、僕等は皆一生懸命働い
てゐます、肉弾戦など毎日くりかへ兵ばかりです、今は〇〇軍だ
てゐます、
漢口も愈々十月には陥落するでせう、中央軍等は一生懸命にな
つて行かぬと云ふ山や山朝晩寒くなりましては僕は元氣
に陣地を作つて居るので日本軍で働いておられますから御安心下
の苦勞は大抵は御座りませぬ、皆々様も寒さに向ふ折柄
も内地のやうな石の敷いた道路
(松田榮橋氏宛)

一日一言

野澤 武藏

商店法が實施されて早くも二
旬、最初の公休日を迎へた平
市内の商店は二十日一齊に休
業し、主人も店員も今日の一
日を全く開放された、然し商
店法實施に依る公休日制度は
朝早くから夜遅くまで拘束さ
れる店員を保護し、休養を興
へることを目的とするもので
あつて、休日を含めたことに
依つて不勞を爲すの徒らであ
たすれば、折角の親心を仇
で返し、角を矯めて牛を殺す
結果となる、不勞を爲すはこ
の點に留意し、意義ある公休
第一日目に際して店員及主人
一齊に同業會議室に集り、公

休の一日を如何に過すべきか
？について本町署長から懇
切に訓示される處あつた、郡山
警察署では夜十時に開放され
る店員が、休養することを忘
れ遊戯に耽つては.....と「パ
チンコ屋」の営業を午後十時
までと制限を加へるに至つた
當を得た方法であるが店員の
遊びは必ず「パチンコ」に限つ
た譯でなく、この筆法で行く
なら弊商店公休の二十日
は料理店もカフェも飲食店
もあらゆる商店を一切二十日
に休業させては如何！極端な
理想論と思ふが一考の要ある
と思ふ
平商工會の指導訓練宜しきを
得て、商店法實施の一日以來
市内の商店は一糸亂れず午後

お魚を召すなら **ヒノマル凍魚**
新しく美味しい
鯛、マサ鱈、帆立貝柱、目拔鯛
平アヂ、うに貝焼、甘鯛、エビ、鱈
日本水産一手特約(電話二八三三三六)
卸小賣 **平製氷會社**
配達ヘ一尾 平代理店 ト印魚問屋
速ニ致マヌ 四丁目(電話五二八)

毎月二十日は **味郷のサービスデー!**
おでん、やきそば
サツポロビール 一本三十八錢
松竹梅 一本五十錢
白菊正徳 一本二十八錢
酒の店 本市三田小路
郷

二百年の歴史を有する
家傳靈藥 **消食散**
相馬ハンサンキ
代理店 丸龜商店
平市大町電話一三三番

十時を期し店を閉ぢ、規定前
の九時半頃早くも閉店する
の多數見られる位で、これ
等早仕舞ひの商店は法の主旨
を履き違へぬやう、規定時間
まで營業を全期する、一般
市民も又規定の十時まで何
れも用を達し、時間外に物品
販賣を強要するもの殆んど皆
無であり、殊に心配された二
十日の公休日に當つても、市
民の凡てが前日に於て日用品
から副食物に至るまで準備す
るまで商店法の徹底を見た
るは誠に慶福すべきである
店員は休日を得たことに依つ
て怠惰に陥らざるやう注意す
るは勿論、市民も又或る程度
の不自由を忍び、規定外時間
の物品販賣を強要せざるやう
法の遵守を切望する

油と味噌 **吉屋**
平市古鍛冶町
電話(營業部専用一〇番
一般用二七番
振替東京一九七五五番)

平市田町(電話五二二三番)
高久病院
院長 高久 忠
副院長 赤羽 清雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科

蓄膿症 根切藥 **快鼻湯**
は(ヘン)薬用のこと(誰か)及ばざ
る其薬で、左の病症の方は一時も早く服
用され快癒される事をお奨め致します
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加
症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
◎其他鼻痔、鼻曲症並に中耳炎は偉大なる神効あり
快鼻湯 製造元 **水野藥局**
責任製劑者 藥劑師 水野 清一
福島縣平市二丁目 電話六九九番

昭和田タクシー
平驛前 電話 三四〇三番

御會葬御禮
平市掘堀小路十八番地
眞木光邦

強力電氣應用
神經痛に特效

產婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
平市新川町(電話一六四番)
木村病院

內臟外科 リントゲン科
北川外科
平市新川町二七
醫學博士 北川芳夫
電話四六四番